

令和6（2024）年度 第2回

函館市企業局経営懇話会 資料

ページ

函館市交通事業経営ビジョン再改訂（原案）に対する函館市企業局経営懇話会における意見・質問等集約結果およびパブリックコメントの結果報告について 1

令和5（2023）年度企業局各会計決算の概要について 2～4

市電における輪軸組立作業の点検および請負事業者によるデータ差し替えについて 5

函 館 市 企 業 局

「函館市交通事業経営ビジョン再改訂（原案）」に対する函館市企業局経営懇話会における
意見・質問等の受付結果について

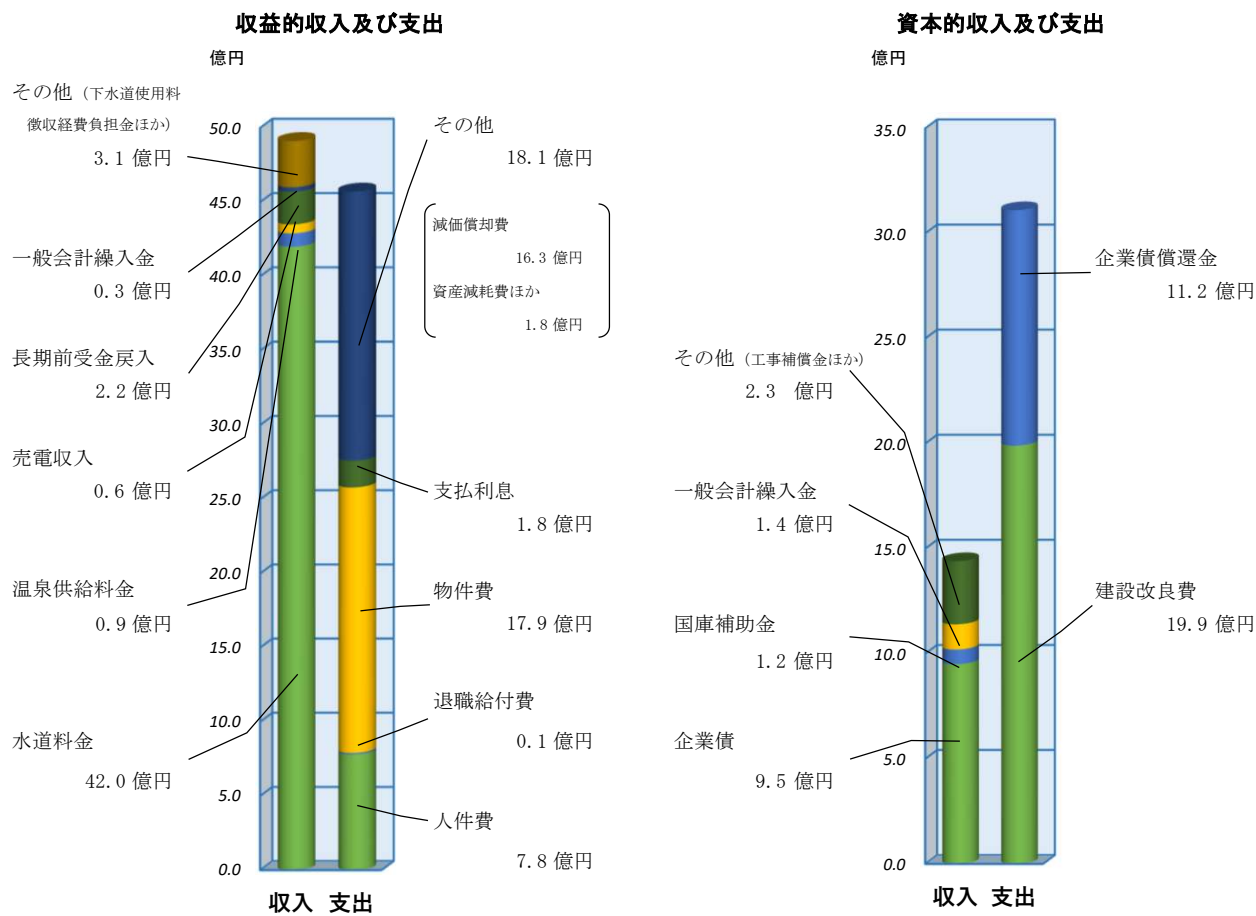
案 件 名	函館市交通事業経営ビジョン再改訂（原案）
募 集 期 間	令和6年9月11日（水）（各委員へ発送）～令和6年10月15日（火）
担 当 課	企業局管理部経営企画課
意見提出者数	0人（意見・質問等の提出はありませんでした。）

「函館市交通事業経営ビジョン再改訂（原案）」に対するパブリックコメント（意見公募）
手続きの実施結果について

案 件 名	函館市交通事業経営ビジョン再改訂（原案）
募 集 期 間	令和6年9月13日（金）～令和6年10月15日（火）
担 当 課	企業局管理部経営企画課
意見提出者数	0人（意見の提出はありませんでした。）

令和5（2023）年度企業局各会計決算の概要について

水 道 事 業 会 計



収益的収入合計	49.1億円	資本的収入合計	14.4億円
収益的支出合計	45.7億円	資本的支出合計	31.1億円
差 引 (A)	3.4億円	差 引 (B)	△16.7億円
(純 利 益	2.0億円)		
損益勘定留保資金 (C)	14.4億円		
前年度末財源残額 (D)		33.2億円	
当年度財源過不足額 (E=A+B+C)		1.1億円	
当年度末財源残額 (F=D+E)		34.3億円	

経営ビジョンとの比較

(税込単位：百万円)				
区分		R 5 経営ビジョン 財政計画 (A)	R 5 決算 (B)	増 減 (B) - (A)
収益的 収 支	水 道 料 金	4,172	4,204	32
	温 泉 供 給 料 金	91	87	△ 4
	売 電 収 入	52	58	6
	一 般 会 計 繰 入 金	33	32	△ 1
	長 期 前 受 金 戻 入	243	225	△ 18
	その他(下水道使用料徴収経費負担金ほか)	290	306	16
	収 入 計	4,881	4,912	31
	人 件 費	793	783	△ 10
	退 職 給 付 費	47	12	△ 35
	物 件 費	1,908	1,790	△ 118
	支 払 利 息	189	178	△ 11
	そ の 他	1,801	1,811	10
	減 価 償 却 費	1,653	1,634	△ 19
	消 費 税 等 相 当 額	40	128	88
	資 産 減 耗 費 ほか	108	49	△ 59
支 出 計	4,737	4,574	△ 163	
損 益	144	338	194	
資本的 収 支	企 業 債	1,152	954	△ 198
	国 庫 補 助 金	144	118	△ 26
	一 般 会 計 繰 入 金	141	140	△ 1
	その他(工事補償金ほか)	378	231	△ 147
	収 入 計	1,814	1,443	△ 371
	建 設 改 良 費	2,353	1,989	△ 364
	企 業 債 償 還 金	1,117	1,117	0
	そ の 他			0
	支 出 計	3,470	3,106	△ 364
	資 本 的 収 支 不 足 額	△ 1,656	△ 1,663	△ 7
補 て ん 財 源	1,494	1,438	△ 56	
当 年 度 財 源 過 不 足 額	△ 18	113	131	
当 年 度 累 積 財 源 残 額	3,185	3,434	249	
当 年 度 末 企 業 債 残 高	19,044	18,743	△ 301	

(注)四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

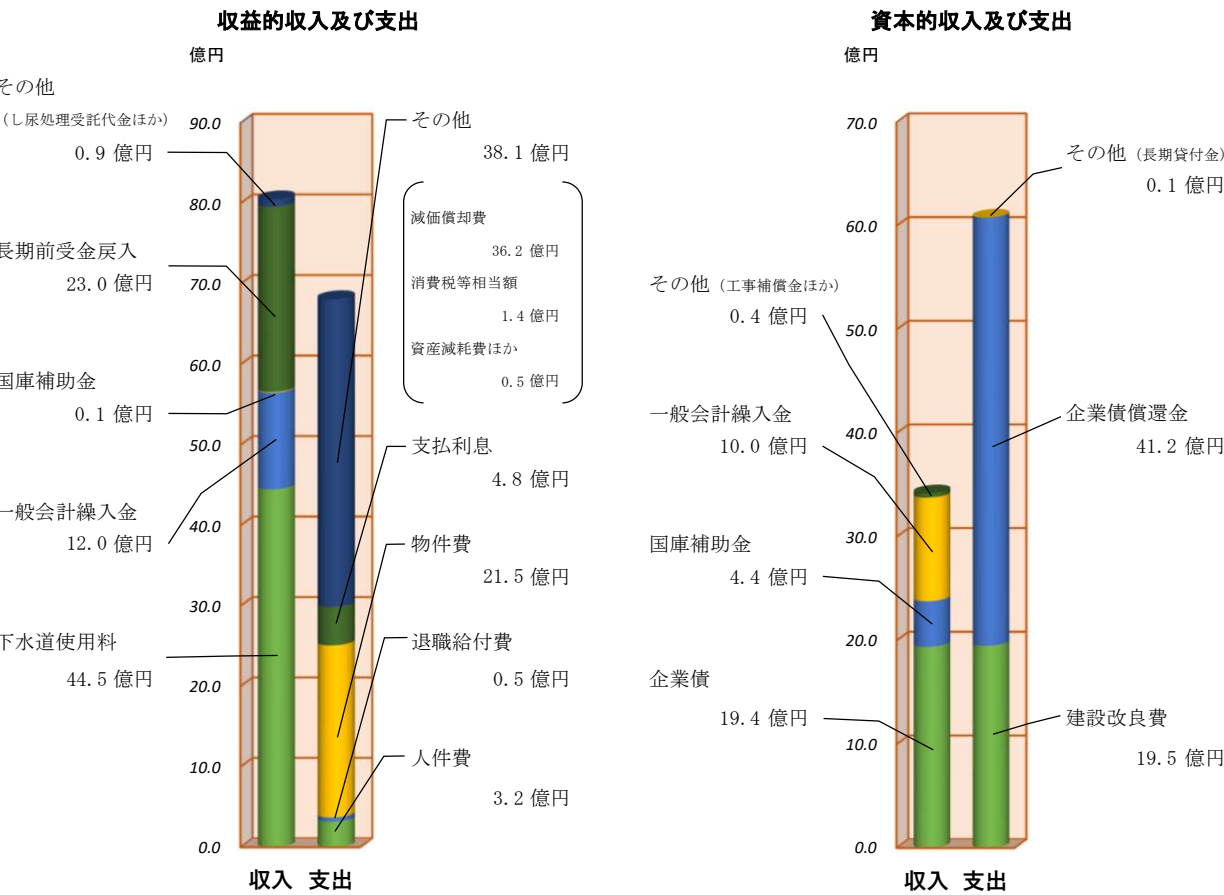
貸 借 対 照 表

令和6(2024)年3月31日現在

(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
固定資産	32,572,567	固定負債	18,786,687
水道事業有形固定資産	31,940,912	企 業 債	17,622,752
水道事業有形固定資産	69,409,553	退職給付引当金	1,163,935
減価償却累計額	△ 37,468,641		
温泉事業有形固定資産	348,152	流動負債	2,244,309
温泉事業有形固定資産	688,737	企 業 債	1,119,910
減価償却累計額	△ 340,585	未 払 金	1,022,777
売電事業有形固定資産	279,212	賞与・法定福利費引当金	75,272
売電事業有形固定資産	452,647	そ の 他 (預り金等)	26,350
減価償却累計額	△ 173,435		
投資その他の資産	4,291	繰延収益	3,332,542
投資有価証券	1,000	長期前受金	8,492,434
出 資 金	3,291	収益化累計額	△ 5,159,892
流動資産	4,550,001	負 債 合 計	24,363,538
現 金 預 金	3,797,209		
未 収 金	752,792	(資本の部)	
		資本金	9,794,365
		剰余金	2,964,665
		資本剰余金	255,395
		利益剰余金	2,709,270
		当年度未処分利益剰余金	2,709,270
		資 本 合 計	12,759,030
資 産 合 計	37,122,568	負 債 資 本 合 計	37,122,568

令和5（2023）年度企業局各会決算の概要について

公共下水道事業会計



収益的収入合計	80.5億円	資本的収入合計	34.2億円
収益的支出合計	68.1億円	資本的支出合計	60.8億円
差 引 (A)	12.4億円	差 引 (B)	△26.6億円
(純 利 益	11.4億円)		
損益勘定留保資金 (C)	13.5億円		
前年度末財源残額 (D)		21.1億円	
当年度財源過不足額 (E=A+B+C)		△0.7億円	
当年度末財源残額 (F=D+E)		20.4億円	

経営ビジョンとの比較

(税込単位：百万円)				
区分		R 5 経営ビジョン 財政計画 (A)	R 5 決算 (B)	増 減 (B) - (A)
収益的 収支	下 水 道 使 用 料	4,426	4,451	25
	一 般 会 計 繰 入 金	1,188	1,196	8
	長 期 前 受 金 戻 入	2,311	2,299	△ 12
	そ の 他 (し尿処理受託代金ほか)	95	102	7
	収 入 計	8,020	8,048	28
	人 件 費	332	321	△ 11
	退 職 給 付 費	46	53	7
	物 件 費	2,183	2,144	△ 39
	支 払 利 息	479	477	△ 2
	そ の 他	3,821	3,810	△ 11
	減 価 償 却 費	3,647	3,616	△ 31
	消 費 税 等 相 当 額	36	141	105
	資 産 減 耗 費 ほか	138	53	△ 85
	支 出 計	6,862	6,805	△ 57
損 益	1,158	1,243	85	
資本的 収支	企 業 債	2,090	1,944	△ 146
	国 庫 補 助 金	230	440	210
	一 般 会 計 繰 入 金	997	998	1
	そ の 他 (工事補償金ほか)	24	38	14
	収 入 計	3,342	3,420	78
	建 設 改 良 費	1,842	1,953	111
	企 業 債 償 還 金	4,129	4,129	0
	そ の 他 (長期貸付金)	11	3	△ 8
	支 出 計	5,982	6,085	103
	資 本 的 収 支 不 足 額	△ 2,640	△ 2,665	△ 25
補 て ん 財 源	1,416	1,353	△ 63	
当 年 度 財 源 過 不 足 額	△ 66	△ 68	△ 2	
当 年 度 累 積 財 源 残 額	2,062	2,038	△ 24	
当 年 度 末 企 業 債 残 高	43,422	42,753	△ 669	

(注) 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

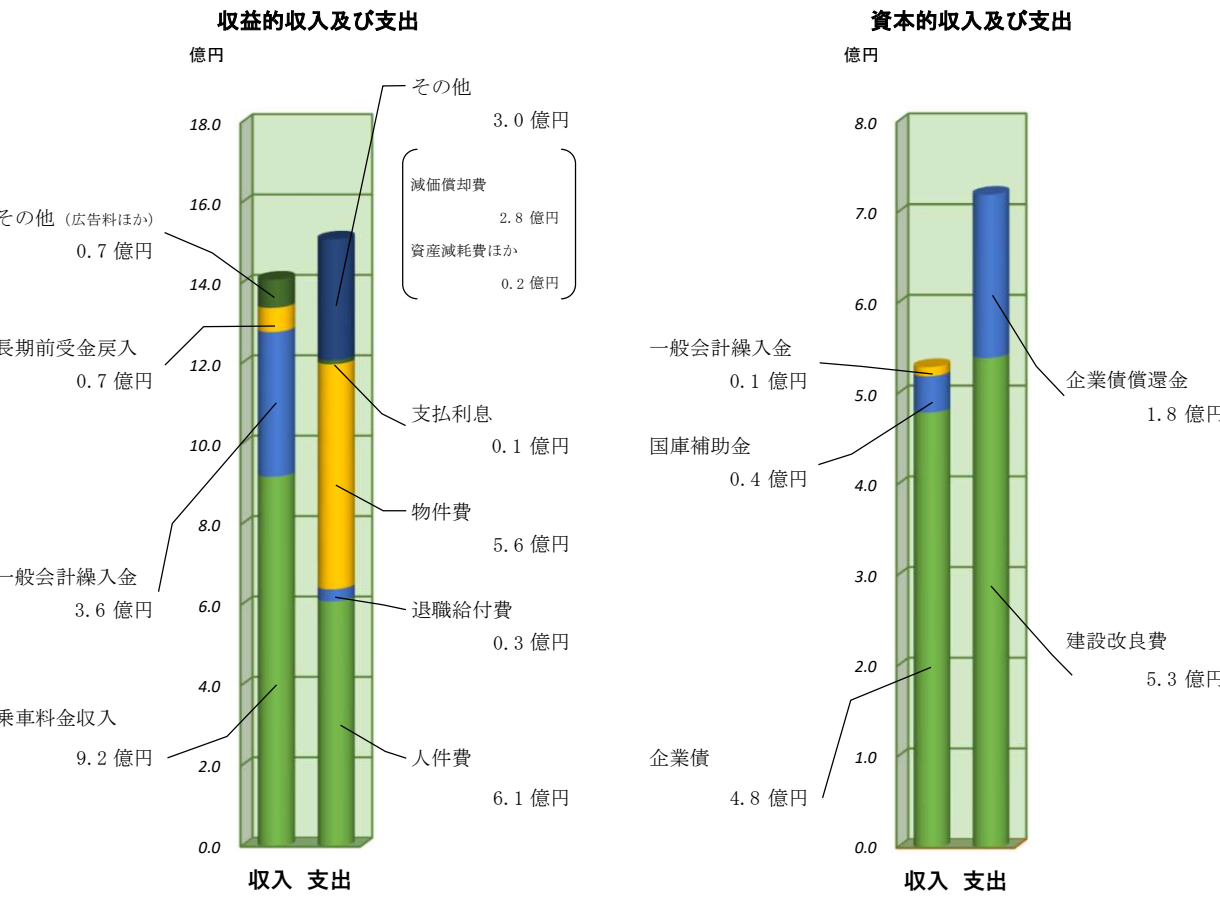
貸 借 対 照 表

令和6(2024)年3月31日現在

(資産の部)		千円	(負債の部)		千円
固定資産		91,278,707	固定負債		39,188,141
有形固定資産		89,330,101	企業債		38,778,860
有形固定資産		181,817,114	退職給付引当金		409,281
減価償却累計額		△ 92,487,013			
無形固定資産		1,935,370	流動負債		4,976,545
投資その他の資産		13,236	企業債		3,974,624
			未払金		972,570
流動資産		3,039,130	賞与・法定福利費引当金		27,831
現金預金		2,513,582	その他(預り金等)		1,520
未収金		429,302			
短期貸付金		6,666	繰延収益		36,799,574
前払金		73,480	長期前受金		89,795,554
他会計保管下水道使用料		16,100	収益化累計額		△ 52,995,980
			負債合計		80,964,260
			(資本の部)		
			資本金		8,816,390
			剰余金		4,537,187
			資本剰余金		1,288,406
			利益剰余金		3,248,781
			当年度未処分利益剰余金		3,248,781
			資本合計		13,353,577
資産合計		94,317,837	負債資本合計		94,317,837

令和5（2023）年度企業局各会計決算の概要について

交通事業会計



収益的収入合計	14.2億円	資本的収入合計	5.3億円
収益的支出合計	15.1億円	資本的支出合計	7.1億円
差 引 (A)	△0.9億円	差 引 (B)	△1.8億円
（純 損 失	△1.4億円）		
損益勘定留保資金 (C)	2.4億円		
前年度末財源残額 (D)		0.3億円	
当年度財源過不足額 (E=A+B+C)		△0.3億円	
当年度末財源残額 (F=D+E)		0.0億円	

経営ビジョンとの比較

(税込単位：百万円)				
区分		R 5 経営ビジョン 財政計画 (A)	R 5 決算 (B)	増 減 (B) - (A)
収益的 収 支	乗 車 料 金 収 入	855	921	66
	一 般 会 計 繰 入 金	364	361	△ 3
	長 期 前 受 金 戻 入	65	65	0
	そ の 他 (広 告 料 ほか)	59	68	9
	収 入 計	1,342	1,416	74
	人 件 費	626	609	△ 17
	退 職 給 付 費	42	35	△ 7
	物 件 費	599	556	△ 43
	支 払 利 息	6	6	0
	そ の 他	299	299	0
	減 価 償 却 費	282	292	10
	消 費 税 等 相 当 額		6	6
	資 産 減 耗 費 ほか	17	1	△ 16
資本的 収 支	支 出 計	1,573	1,505	△ 68
	損 益	△ 230	△ 89	141
	企 業 債	493	478	△ 15
	国 庫 補 助 金	43	43	0
	一 般 会 計 繰 入 金	12	12	0
	そ の 他 (工 事 補 償 金 ほか)			0
	収 入 計	549	533	△ 16
	建 設 改 良 費	553	538	△ 15
	企 業 債 償 還 金	179	179	0
	そ の 他			0
	支 出 計	731	716	△ 15
	資 本 的 収 支 不 足 額	△ 183	△ 183	0
	補 て ん 財 源	271	236	△ 35
当 年 度 財 源 過 不 足 額		△ 142	△ 37	105
当 年 度 累 積 財 源 残 額		△ 142	1	143
当 年 度 末 企 業 債 残 高		2,800	2,756	△ 44

(注) 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

貸 借 対 照 表

令和6 (2024) 年3月31日現在

(資産の部)		千円	(負債の部)		千円
固定資産		3,301,867	固定負債		3,097,558
有形固定資産		3,301,625	企業債		2,553,010
有形固定資産		9,686,345	退職給付引当金		544,548
減価償却累計額	△	6,384,720			
投資その他の資産		242	流動負債		553,484
			企業債		203,392
流動資産		350,842	未払金		285,631
現金預金		134,233	前受収益		8,250
未収金		89,891	賞与・法定福利費引当金		48,533
商品		1,013	その他(預り金等)		7,678
貯蔵品		125,705			
			繰延収益		579,276
			長期前受金		2,968,320
			収益化累計額	△	2,389,044
			負債合計		4,230,318
			(資本の部)		
			資本金		382,657
			剰余金	△	960,266
			当年度未処理欠損金		960,266
			資本合計	△	577,609
資産合計		3,652,709	負債資本合計		3,652,709

市電における輪軸組立作業の点検および請負事業者による
データ差し替えについて

1 経緯

北海道運輸局からの通達（※１）を受け、輪軸（※２）組立作業に係る記録の確認を行っていたところ、令和６年９月１８日に請負事業者である京王重機整備（株）から輪軸組立作業時の圧入力データについて、作業機械からの出力とは異なった数値に差し替えて試験成績書を作成し、企業局に提出していたとの報告がありました。

※１ 日本貨物鉄道株式会社による輪軸組立時の不正行為を受けた通達「鉄道車両の輪軸の緊急点検について（令和６年９月１２日）」

※２ 輪軸とは、車輪と車軸からなる部品で、車輪に車軸を圧入して組み立てたもの

2 データ差し替えが判明した輪軸

１軸（１両）

3 企業局の対応

企業局では、輪軸組立作業時の圧入力データの確認結果および作業後の超音波探傷検査結果を請負業者より書面にて提出させ、車両運用後の定期検査においてバックゲージ（車輪間隔）の測定等を行い、異常がないことを確認しておりましたが、今回の事象を受け、データ差し替えが判明した車両については、改めて緊急点検を実施してバックゲージの測定を行い、車輪の緩みがなく安全性に問題がないことを再確認しました。

また、京王重機整備（株）に対し、再発防止の徹底を強く求めてまいります。